

SBC 10得点！！快勝！！

某A 6 - 10 SBC

柵越えホームラン 石神

平成27年10月24日、東邦スタジアムにて、SBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某Aとの試合があった。
SBCは初回から3点を奪い、その後も着々と点数を重ね、1度もリードを許すことなく10得点で快勝した。

投打十守備で活躍 富永

2015年のシーズンも終盤。ここに来て、調子上げてきた富永は今回も躍動した。
前回の試合では3打数2安打、今回は3打数3安打。打率はここ2試合で脅威の8割3分3厘を叩き出している。

だが今回の試合はそれだけでは無い。フラフラとしたフライが富永の待つセンター方向に上がった。誰もが落ちそうだなと思っていたが、富永は全力で前進し好捕した。そして、ランナーが飛び出しているのを見るや、素早く1塁へ送球し、ダブルプレーを完成させた。
打撃ではチャンスを出し、守備では相手のチャンスを摘む結果となった。次回の試合も彼の活躍に期待したい。

人生初ヒット 河野（裕）

迎えた第2打席。その瞬間は突然訪れた。初球のストレートをうまく打ち、ボールは、ライト前に落ちるヒットとなった。
河野（裕）にとっては嬉しい人生初ヒットである。

だがしかし、次の打席はボール球を3球全て空振り。あえなく三振となった。喜ぶのは少し早過ぎたのかもしれない。



柵越えホームランを放った後、余韻に浸りながらベースランをする石神

今回の総



この男は何度歴史を塗り替えて来ただろう。そして、今回も歴史が動いた瞬間に出くわした。迎えた第3打席。甘く入ったストレートを強振した。ボールは、グングンと飛距離を伸ばしていき、あつという間にフェンスの遥か上を越えていった。
今まで、ランニングホームランはあったが、柵越えホームランはSBC設立以来初となるものであった。
このホームランはチームに活気を与えるだけでなく、相手を沈黙させるには十分過ぎるほどの効果が有ったというの言うまでも無い。

前回に引き続き、打線の好調により勝利を手にしたSBC。だがしかし、浮かれてばかりもいられない。計18個のアウトの内、実は三振が8個もあることを忘れてはいけない。アウトの約半分は三振によるものなのだ。
打撃もまだまだ改善の余地がありそうだ。そして、守備に関してはエラーの多さが際立った。守備は打撃以上に課題が多いようだ。

[試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
某A	1	0	1	1	0	3	0	6
SBC	3	0	1	1	4	1	/	10

[投手成績]

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	4回	2	3
富永	3回	2	3

SBCメンバー募集中！

○次回の試合は、未定となっております。
☆ これからも皆様の応援よろしくお願い致します ☆

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	二	西田(宏)	4	1	1	0	2
2	遊	(助っ人)	4	2	3	0	2
3	捕	石神	3	2	4	0	2
4	三	大下	3	1	1	0	1
5	投	床島	3	1	1	0	1
6	中	富永	3	3	0	0	3
7	一	木原	2	1	0	0	1
8	左	外林	3	0	0	1	1
9	右	河野(哲)	1	0	0	0	0
		大野	1	0	0	0	0
		河野(裕)	2	1	0	0	1